

(様式 7)

(排出事業者用)

令和 7 年 6 月 12 日

長野県知事 様

令和 7 年度 長野県産業廃棄物 3 R 実践協定 実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	令和 7 年度から 令和 8 年度		
会 社 名	宮下建設工業株式会社		
住 所	〒399-3802 上伊那郡中川村片桐4030		
代表者名	代表取締役 宮下 進吾		
業 種	製造業 ・ 建設業		
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所 在 地	
	該当無し		
担当部署	総務部		
担当者名	宮下 三恵		
連 絡 先	T E L	0265-88-3034	
	F A X	0265-88-3575	
	電子メールアドレス	info@miyashitakk.com mie-m@miyashitakk.com	
ホームページアドレス	http://www.miyashitakk.com		

1 総排出量、リサイクル量に関する達成状況

※計画策定時に採用した指標で記入してください。

	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	7 年度目標値	7 年度実績値	6 年度実績値	5 年度実績値
総排出量の推移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)	600.00	587.24	611.80	848.20
リサイクル量の推移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)	600.00	585.04	607.20	829.80
売上高の推移 (円)	800,000,000	969,269,169	780,625,000	757,547,000

2 排出抑制、リサイクルのための取組に対する実績

- ・毎月 1 回行う社内安全パトロールの際、各現場において現場責任者立会いのもと、適切な廃棄物の分別・運搬等が行われているかの確認を行って徹底を図りたかったが、実際には安全パトロールの際に確認できる範囲内での注意喚起にとどまってしまった。
- ・設計書を精査し、リサイクル製品の使用が可能かを新たに提案したかったが、担当者との情報共有がうまくいかず、なかなか進められなかった。しかし再生砕石・再生コンクリートに関しては 100%とはいかないものの、使用が出来た。
- ・再利用可能資材や在庫の確認の為、会社倉庫の整理整頓の心がけは出来たが、その情報の共有までは徹底出来なかった。
- ・ダンボール、カタログは置場を決めて集め、リサイクル業者に定期回収をしてもらった。
- ・会社で捨てられるペットボトルは各個人が責任をもってキャップ・ラベル・本体に分別し、収集することが出来た。

全体として、毎月の責任者会議での情報共有で一部社員には 3 R 実践協定の趣旨の理解は進んだが、社員全員にまでは浸透しなかった。しかし自分の出したペットボトルの分別などより身近なことの徹底は出来た。

※必要に応じ写真等を添付してください。

3 リサイクル製品使用率（％）

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値		過年度実績値	
	7 年度 目標値	7 年度 実績値	6 年度 実績値	5 年度 実績値
再生砕石	100	99	98	98
再生アスファルト	100	100	100	100
全 体	100	99.5	99	99